

新宮山彦ぐるーふ第2404回

持経宿、平治宿の迎春準備など

◇実施日 12月7日（日） 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、畠林秀味、大江徳子、阪口雄一、

鳥羽真司、上村和美、梶野照雄、志岐敬、村吉光夫、

高橋桂太、塩川真武

12名

今年も小屋の迎春準備をする時期になつた。最近、特に月日の経つのを早く感じるのは私だけではないようだ。



ハシゴを運ぶ

しめ縄を交換

正月飾り

靡看板出発

設置中

設置完了



村吉、塩川の2名に待つていただき、8人が車2台で持経宿に先行した。池郷林道ゲートのすぐ先は、重機が入つて整備したらしく、溝が砂で埋められていた。重機が入つたためか落石を除けることは一度もなかつたが、風で折れた枝が多数あり、その都度車を降りて除去した。持経宿に着き各々が準備を始めた。程なく村吉車と梶野車が到着し全員が揃つた。まず平治宿班（児嶋、阪口、鳥羽、上村、高橋、5名）が出発。千年桧迄ハシゴの運搬もお願いした。

当日朝8時半、いつものようにスポーツ公園駐車場に集合する。私から、今日は3班に分かれて作業することなどを説明した。久々に塩川君の顔も見えた。梶野、志岐のお二人が少々遅れるとのことで、だ。

続いて「乾光門」靡看板を証誠無漏岳山頂に設置するため村吉、志岐、塩川の3名が出発。この23番乾光門の靡看板は、涅槃岳の北側に設置していたが、順番が逆になつていて、数名の行者さんから指摘もあつたので再調査した結果、証誠無漏岳が靡であることが判り、今回の設置作業となつた。なお涅槃岳の北側に設置してある靡看板はそのままになつていて、来春にでも撤去、回収の予定だ。

残った持経宿班（沖崎、畠林、大江、梶野、4名）は千年桧に向かう。徳子ちゃんは祠の清掃やお供えの交換。男3人で千年桧のしめ縄交換を行った。慣れたものだが、風が強く指先が冷えて細い紐を縛るのに時間がかかった。30分ほどで作業を終え持経宿に戻った。



ソーラー・パネル追加



小屋前の清掃

正月飾り



午後1時半ごろに平治宿班も戻ってきた。平治宿小屋内外の清掃、正月飾りの取り付け、雨水槽の水抜きなどを行った。児嶋さんはストーブの灰を処理し、落ちている枝を集めてマキ造りも行つたそうだ。また、ソーラー発電のバッテリーが劣化して、十分な電圧が確保できないので交換する必要があるとの報告を受けた。梶野君は持経宿の充電コントローラーと平治宿のバッテリー交換を来週にでも行うようだ。



雨水槽の水抜き



正月飾り



雨水槽の水抜き

三つの班がそれぞれの作業を無事終え、暖かくおいしいコーヒーを頂いた後下山した。

（記・沖崎）

梶野君は行仙宿の管理棟から外したソーラー・パネルを持経宿に追加するため屋根に上つて工事を行う。ソーラー・パネルの取り付けは40分ほどで終わつたが、充電コントローラーが故障しているようで照明は点灯しなかつた。梶野君を除いた3名は小屋とお堂の清掃、正月飾りの設置、マキの補充などを行い昼食とした。食後、水槽の水抜きを行つていると12時半ごろに証誠無漏岳班が帰つてきた。10時過ぎに持経宿を出たので、比較的早いペースだつたようだ。靡看板の設置はスムーズに終わつたが、風が強くあまりにも寒いので、屋外での昼食は諦め、小屋まで逃げ帰つてきたそつだ。

行動タイム

08:30 スポーツ公園駐車場→09:40 持経宿 13:53→14:45 スポーツ公園駐車場

本日の参加者



下山



スポーツ公園駐車場

